

特別養護老人ホーム

IoT機器活用で眠り改革！ ご利用者のQOLの向上へ

私がご報告します！

特別養護老人ホーム
等々力の家
副施設長 藤巻 佳祐

特養事業本部では、ICT・IoT機器を多数導入し、ご利用者の尊厳を守り、その方らしい暮らしの実現に向けた取り組みを積極的に行っています。数ある取り組みの中から、特別養護老人ホーム等々力の家における事例をご紹介します。

事例1 眠りSCANで睡眠の質が改善し、認知症BPSDが軽減

眠りSCANとは ▶ マットレスの下に設置し、ご利用者の呼吸・心拍から体動を測定して睡眠状態を把握することで、ご利用者の生活習慣の改善に役立つセンサーです。

成果

- 睡眠時間が一晩で**58分増加**
- 睡眠効率が**59%→70%に上昇**
- NPI (BPSD) 評価※が**42点→11点に減少**

※NPI評価とは認知症患者のBPSDの頻度と重症度および介護者の負担負担度を数値化することができる神経心理検査。BPSDが0点、0点～135点まで。

ケア計画

眠りSCANの睡眠データと日本版BPSDプログラムのBPSD評価を基に以下のアプローチを検討し実践しました。

- 入床時間調整
- 夜間トイレ誘導時間見直し
- 日中活動性向上のため週3日の散歩
- 就寝前に入眠を促す音楽を再生

2ヶ月後

青色の睡眠時間が大幅に増加

事例2 眠りSCAN eyeで体動の要因を分析し、ベッドからの転落が減少

眠りSCAN eyeとは ▶ ご利用者の映像をパソコン端末や携帯端末や眠りキャンで感知した状態の変化を検知して映像で確認できるカメラシステムです。これにより、緊急対応の必要性の有無などについて、より的確な判断に繋げることができます。また居室内の事故発生時の行動分析にも活用することができます。

成果

- 睡眠時間が一晩で**70分増加**
- 睡眠効率が**63%→79%に上昇**
- 周期性体動回数が1時間あたり32.1回から**28.2回に減少**
- 転落件数が4分の**1に減少**
- ご本人の行きたいタイミングでトイレ誘導を行い**介入拒否が0に**

ケア計画

居室に眠りSCAN eyeを導入し、ベッド上での体動の要因をトイレに行きたいのでは、と分析。以下のアプローチ方法を検討し実践しました。

- 23時の定時の排泄介入を中止
- 1時～3時に離床されるタイミングで排泄支援
- ipadで様子を伺い睡眠を妨げる過度な訪問を避ける

深夜1時～3時に△の覚醒による離床が多く、ベッドからの転落のタイミングと同じであることが分かった。

転落回数が大幅に減少！

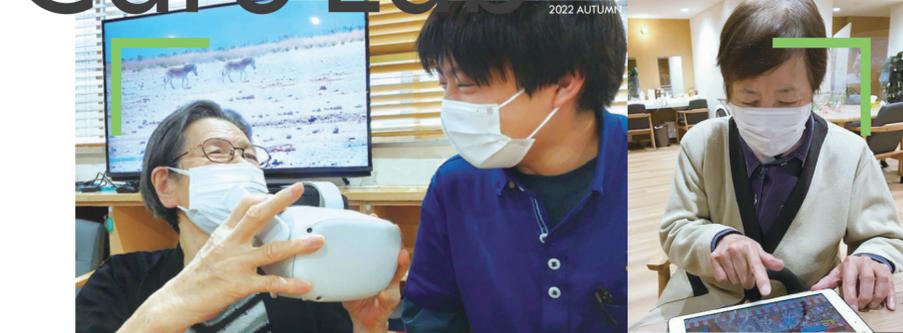
おわりに

年齢を重ねるとともに眠りが浅くなるなど眠りの質が低下することは、心身に様々な影響を及ぼす場合があります。見守り支援システム「眠りSCAN」を活用し、睡眠データの収集から多職種による分析、仮説に基づいた様々なアプローチを実践した結果、睡眠の状態が改善しご利用者のQOL向上へつながりました。

For You Care Lab vol.3

フォーユー ケアラボ

2022 AUTUMN



DXで次世代創造

法人採用のご案内

人事部ではリファラル採用・アルムナイ制度・そしてウェルカムバック制度を用いて法人全体での職員採用を積極的に推進しており、働く仲間を多く募集しています。ご興味のある方は人事部までご連絡ください。

- リファラル採用 (お友達紹介キャンペーン)**
奉養会では就業中の職員からのお友達紹介などを広く受け付けています。現在、新卒採用、特養事業本部、優つき事業本部がキャンペーン中です。詳しくは下記、各担当問い合わせ先までご連絡ください！
- ウェルカムバック制度 (再入職支援キャンペーン)**
退職時の給与が保障され、再入職できる制度(※諸条件あり)。退職しても再度慣れた環境で就業でき、処遇も安定。
- アルムナイ制度 (奉養会卒業生コミュニティ)**
奉養会卒業生(退職者)に向けて、法人の最新情報を提供していく仕組みとなります。卒業後も双方応援し合えるようなコミュニティ創りを新設しました。



【お問い合わせ先】
新卒採用担当: jinji-recruit@foryou.or.jp 中途採用担当: jinji-career@foryou.or.jp

介護職処遇改善の取組実績

奉養会では①介護職員処遇改善加算、②介護職員等特定処遇改善加算、③介護職員等ベースアップ等支援加算を申請しています。法人として積極的に介護職員への処遇改善に取り組んでいます。



【お問い合わせ先】 処遇改善等労務担当: fy-romu@foryou.or.jp

新規開所施設紹介

<p>優つき村豊島南長崎</p> <p>所在地: 豊島区南長崎5丁目20番16 最寄り駅: 西武池袋線「東長崎」駅 徒歩3分</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症対応型共同生活介護18名 ②看護小規模多機能型居宅介護 登録定員24名、通い定員12名、宿泊定員5名 <p>運営開始: 2022年12月1日</p>	<p>(仮称) 優つき村板橋栄町</p> <p>所在地: 板橋区栄町35番2(仮) 最寄り駅: 東武東上線「大山」駅 徒歩5分</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症対応型共同生活介護27名 ②小規模多機能型居宅介護 登録定員29名、通い定員18名、宿泊定員9名 ③地域交流スペース <p>運営開始予定: 2023年4月1日</p>	<p>(仮称) 特別養護老人ホーム弦巻の家</p> <p>所在地: 世田谷区弦巻5丁目34番(仮) 最寄り駅: 田園都市線「桜新町」 徒歩16分</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特別養護老人ホーム108名 ②老人短期入所施設12名 ③看護小規模多機能型居宅介護 登録定員29名、通い定員18名、宿泊定員9名 ④地域交流スペース <p>運営開始予定: 2023年6月1日</p>
---	--	---

看護小規模多機能 グループホーム

医療対応だけではなく、 看護小規模多機能型居宅介護

私がご報告します！

優つき看護小規模多機能介護
三軒茶屋
支配人 山口 タケノ

医療連携、IoT活用による24時間安心の看護小規模多機能型居宅介護

優つき村の看護小規模多機能では様々な医療的支援・医療連携を実施しており、ご家庭での介護・療養支援に貢献しています。個々のご利用者に合わせた「体調管理・サービス目標設定」「日常生活の支援」「機能訓練」「医療支援」など、ライフスタイルや心身状態、ご希望に合わせたサービスを実施し、その方らしい生き生きとした在宅生活が送れるよう支援しています。また、見守りIoTの活用により24時間安心の体調管理を実施し、在宅でお見取りなどに活用します。

見守りIoTセンサーの仕組み

ご自宅に見守りIoTのベッドセンサーを設置

呼吸・脈拍を24時間測定し、心身状態を通知

看護師 家族

いつでも異変に気付ける体制で支援

見守りIoTを活用した在宅看取り支援事例

A様 86歳男性 要介護5

日々のケア
在宅酸素、吸引・バルーン管理、血圧測定、処置、点滴、洗髪、手足浴、24時間医療連携

誤嚥性肺炎とイレウスにて入院し、退院するも状態安定しないまま在宅に戻られた。医師からはもって数週間と言われ、お看取りの方向でサービス開始する。

見守りIoTにて24時間心身状態を確認。自由に面会しただけご家族に看取られてご逝去。

優つき村多機能の医療支援状況

胃ろう・腸ろうの管理、経鼻経管栄養、中心静脈栄養カテーテル・ストマの管理、たんの吸引、ネブライザー療法、気管切開、人工呼吸器の管理、注射・点滴、簡易血糖測定、インスリン注射、創傷の処置、褥瘡の処置、服薬管理、透折されている方、導尿、疼痛の看護、洗滌・摘便

点滴管理 簡易血糖測定 たんの吸引 褥瘡の処置

高まる需要！各地域へ続々と優つき村多機能展開中

優つき村多機能三軒茶屋 (2020年8月運営開始)

優つき村多機能多見 (2021年1月運営開始)

優つき村多機能豊島南長崎 (2022年12月運営開始予定)

優つき村多機能弦巻 (2023年7月運営開始予定)

新施設整備企画中です！

各施設へのお問い合わせはこちら！

グループホーム #YouTube再生回数7万回突破!!

📺 コロナ禍のグループホームの介護職の一日に密着

令和3年4月に港区にOPENした、優つきグループホーム高輪台で働く、介護職員の一日に密着しました。コロナ禍で感染予防対策を実施しながら、入居されている方々の生活を日々支えています。感染予防のため、マスクやフェイスシールドを活用しながらのコミュニケーションは、高齢者が聞き取りづらかったりと苦労もありますが、職員が丸くなって「ゆっくりに、一緒に、楽しく」サービスを提供しています。

密着を受けた杉本職員

介護職員の一日

- 9:00 バイタルサイン測定・洗濯
- 10:00 お茶・活動支援・昼食準備
- 12:00 昼食
- 13:30 入浴支援・活動支援
- 15:00 リラックスタイム
- 16:00 夕食準備・記録
- 18:00 夕食

動画の視聴はこちら！

居宅介護支援 訪問介護

~効率的、効果的に楽しく働くために~
あたらしいことはじめています!

等々力の家
居宅介護支援事業所
専任部長 寺尾 弘子

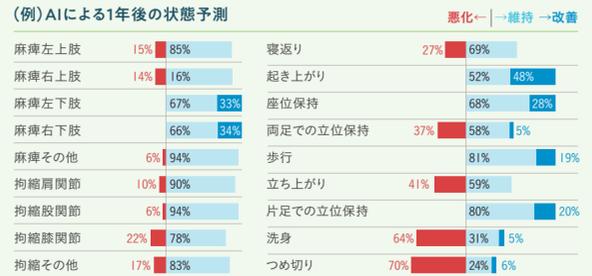
私をご報告します!



システム一元管理で働き方改革へ! AIケアプラン(cloud)訪問介護チェックインシステム

ケアプランの質の担保及び業務の生産性向上の観点から、AIケアプラン作成支援システムを導入。

ご利用者の目標設定の際、サービスを増やした場合、減らした場合の1年後の状態について予測ができ、「悪化」「維持」「改善」が数値で見えることで根拠のあるケアプランの提案ができます。また、訪問介護では訪問系アプリを導入、スマートフォンを用いて入室の管理や記録入力を行います。訪問先で利用者様の最新情報を得ることで、スピーディな対応が可能となります。



奉優会ケアマネと全国のケアマネがつながる FBケアマネオンラインサロン

他法人の事業所のケアマネジャーとのコミュニティを奉優会から始めます! 事業所の枠を超えて、ケアマネジャー同士で気軽に会話のできる場所を作ります。様々な情報共有・交換、交流の輪を拡げ、地域での活動につなげていきます。奉優会ブランドを全国に広めていきます。



ケアマネジャーからSNS発信 コミックエッセイ「ケアマネあるある」

Instagram、Facebook、YouTubeなどSNSを活用し、奉優会の取り組みや介護保険情報をより広く発信します。奉優会のケアマネジャーが「ケアマネあるある」などコミックエッセイで親しみやすさをPR! YouTubeでは動画でわかりやすくケアマネの業務について紹介しております。



事業部で本出版! 職員から社会発信

ヤングケアラー支援研修を自治体・民生児童委員・学校・介護福祉関係者を対象に、オンライン(ZOOM)研修を開催。自治体と連携し、ヤングケアラーを正しく理解した上で、地域課題と向き合い、各地域の関係機関が連携できる仕組みづくりの一助となるよう活動しています。



地域包括支援

次世代を見据えた
地域包括支援センターの取り組み

~地域包括支援センターでは、デジタルを駆使した次世代対応型の取り組みを行っています~

目黒区東部包括支援センター
責任者 廣川 君代

私をご報告します!



世田谷区 デジタル講座の取り組み

世田谷区内地域包括支援センターでは、今年度から、高齢者がデジタルを活用し、生活の充実を図ることを目的として、介護予防、デジタルバйд(情報格差)の是正などに関するデジタル講座を企画。地域の高齢者と福祉関係者に向けて講座の開催を行っています。

代沢地域包括支援センター

代沢地域包括支援センターでは、スマートフォンのカメラ機能を活用し、メールに添付したりアプリで共有したりする方法をお伝えする「スマホカメラ講座」を開催しました。



奥沢地域包括支援センター

スマホde健康 ~いつでも歩ける身体を手に入れよう~

奥沢地域包括支援センターではデジタルを利用した介護予防講座を開催しました。コロナ禍で外出機会や運動機会が減ったことで、筋力低下が増え、またスマートフォンの使い方に関する質問も多く寄せられました。そこで運動もできてスマホの操作方法も楽しく学べる講座を開催! 歩行状態を解析し、個別の運動プログラム動画を二次元コードで紹介しました。参加者からは運動習慣につながったと声をいただき、大好評でした。



江東区 オンライン認知症カフェの取り組み

枝川地域包括支援センター

枝川地域包括支援センターでは、コロナ禍でも集いの場を継続できるよう認知症カフェの開催支援をオンラインで行っています。その中で地域の方に向けて外出自粛中でも健康に生活ができるよう熱中症講座を開催しました。認知症カフェは毎月開催しており、オンラインでも会場でも参加できるハイブリッドで実施をしながら、コロナ禍でも中止することなく開催を行っています。これからも地域の皆様の健康の維持向上にお役に立てるよう取り組んでいきたいと思います。



目黒区 オンラインケアマネカフェの開催

目黒中央包括支援センター

目黒中央包括支援センターでは、「コロナ禍でも、地域の横の繋がりをもちたい」というケアマネジャーの皆さまからの要望があり、オンラインでの交流の機会として「ケアマネカフェ」を開催しています。1回1時間程度、テーマも自由。参加も自由。時間制限も特にならないオンラインでの交流会を定期開催中です。



デイサービス

住み慣れた地域で
自立して暮らし続けるための支援

~入浴加算II、機能訓練システムやAI歩行分析を通じた個別訓練アプローチ!~

奉優デイサービスセンター北
責任者 松井 信子

私をご報告します!



個別機能訓練に取り組みむワケ 住み慣れた地域で居宅において可能な限り自立して暮らし続けることを目的とし、生活機能の維持・向上を図るために、個別機能訓練を実施することが求められる。(老発第0327 第2号より)

自立支援3つのアプローチ

01 システム活用: カラオケ機器システムのリハビリメニューと、機能訓練指導員のプログラムを運動する事で、科学的根拠に基づいたプログラムを提供します。LIFEからのフィードバック内容を計画とプログラムに活かし、機能訓練の好循環を生み出します。

02 入浴の評価: 生活の中で必要不可欠な入浴の機会。入浴環境、動作等の評価を反映した個別入浴計画に基づき、在宅時も安全かつ快適にご入浴頂けるよう支援します。その介入内容や必要な入浴物品等のフィードバックを行います。

03 AI歩行分析からの在宅運動支援: 理学療法士の知見を基に開発されたAIが、利用者の歩行や転倒リスクの評価を客観的に行い、利用者にあった運動メニューの提案を行います。分析結果の可視化により、自主性を向上させながら、適切な機能訓練を提供します。

自立支援3つのアプローチの活用事例

現在の状態を維持して、住み慣れた在宅での生活を続けたい

1 システムを活用した機能訓練: 身体評価を行ったうえで、個別の機能訓練を実施。移動の安定性などを確保することで現在の状態を維持。

2 入浴フィードバック: 自宅でも入浴ができるよう、跨ぎの訓練や、必要な手すり、台などを提案することで、自宅でも入浴ができるよう支援。

3 自宅トレーニング提案: AI評価から自宅でのトレーニングの提案。デイでも同じメニューで継続できる環境設定。

高齢者福祉センター

練馬区事業所連携
DX活用によるチームネットワーク強化

練馬区栄町敬老館
館長 石元 由美

私をご報告します!



練馬エリア3館合同事業 はつらつセンター豊玉/栄町敬老館/中村橋地域包括

練馬区では、法人運営事業所間で連携・協働し、高齢者の見守りや相談、介護予防等を行っています。新型コロナウイルス流行後においても、高齢者のその人らしい暮らしを守るため、オンラインをフル活用して継続的にサービスを提供してきました。

オンライン活用の取り組み



重層的支援の取り組み

地域の人々が抱える悩みや課題は多様化・複雑化しており、はつらつセンター豊玉にも様々な相談が寄せられるようになりました。相談内容に関わらず、適切な支援につなげられる体制をつくるため、地域の様々な関係機関と協働し重層的支援事業を行っています。

重層的支援の練馬ネットワーク

高齢者ボランティアの方々をはじめ、地域の企業や農家さんなど、たくさんの方にご協力をいただき、開催しています。

はつらつセンター豊玉の取組み: 子ども交流食堂 (食の提供や交流継続のため、子ども食堂に変わりフードパントリー事業を行っています)、地域見守り (地域で暮らす一人ひとりが役割を持ち「支え手」「受け手」という関係を超えてつながることで、地域共生社会を創ります。)、食料提供 (地元農協)、食費提供 (近隣町会・公的機関)、リサイクルセンター (食器の提供や交流継続のため、子ども食堂に変わりフードパントリー事業を行っています。)

奉優会オンライン企画 おうちdeストレッチ

令和2年春に日本国内でも新型コロナウイルスが流行し、各所で事業休止や縮小等の制限が余儀なくされました。その中でも高齢者の活動量低下防止・介護予防の継続のため、事業のオンライン化の促進に積極的に取り組んできました。現在では各所でZOOMやYoutubeを活用したオンライン事業や通信講座を開催しています。

Pick Up! 自宅でセルフヘルスケア推進体操動画⑧「おしりのストレッチ」: おしりのストレッチ (動画の視聴はこちら!)